

ターゲット風船ゴルフ

教科・場面

体育

授業・実践のねらい

- ・音楽のリズムに合わせて身体を動かしたり身体表現したりすることを楽しむ。
- ・いろいろな高さのホールに、道具や手で打ったりして風船を飛ばして入れることができる。

対象の児童・生徒

小学部5・6年 課題別体育
(5年：6名、6年：2名)

主に、独歩または介助歩行、ウォーカーを使えば自分で“移動”ができる児童。

<6年：1名、5年：1名>

目と手の協応や物の弁別、二者択一、一対一対応などをめざす。

<6年：1名、5年：2名>

指さしや視線による相手の意図理解。

人や物への対応性を高める。

<5年：4名>

口頭での質問や指示の意図を理解して行動することができる。

教材・教具 くっついて止まるテーピングテープ
(38mm、50mm) ダイソー



工夫したところ

テープとテープは付くが、肌には付かないため、付け外しの際、児童の皮膚への影響が少ない。
(再利用可)。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

ターゲット風船ゴルフ

- ・ラケット、野球バット、スポンジ等の打具を使用して風船を打ち、いろいろな高さのホール（傘）に入れる活動に取り組んだ。その際、ラケット等を持ち続けることが難しい児童に対し、このテープを使用して手とラケットを固定した（下画像）。



授業・実践を通じた児童生徒の変容

・今まで、うまく握ることができなかつたり、握る力が弱かつたりすることで、風船等を打つ際にラケット等が安定しなかつたり、落としてしまつたりすることがあった。このテープを使用するようになってからは、ラケット等を安定して操作できるようになり、打つことに注意を向けることができるようになったため、腕の動きや力の調整により意識を向けることができるようになった。